



第 88 号

(年 4 回発行)

編集発行

弘前学院大学 学会  
広報委員会

印刷所

(有)小野印刷所

# 2022(令和4)年度 入学式挙行

4月4日(月)、2022年度弘前学院大学並びに大学院の入学式を行いました。  
今年も式は、新型コロナウイルスの感染拡大を極力排除するため、ご来賓の方々や保護者の皆様の参列をご遠慮して頂き、式次第も簡素化して行われました。

文学部第52回、社会福祉学部第24回、看護学部第18回、大学院社会福祉学研究科修士課程第20回および文学研究科修士課程第18回、総勢名209の学生が入学されました。



## 入学式式辞

学校法人弘前学院

学長 藁科 勝之



例年になく大雪でしたが、山々の残雪も消えつつあるこの早春に、弘前学院大学に、新たに若い皆さんをお迎えできたことを、大変嬉しく思います。皆さん、御入学、おめでとうござります。本年度は、総計209名の皆

さんをお迎えすることができました。さて、新型コロナウイルスの感染は、これで3年に入りますが、この弘前において、未だ収束に向かっているとは言えない状況です。前年度と同様、保護者の皆様、来賓の方々には、リモートでご覧いただくこととし、このように、皆さんと教職員のみとの入学式となりました。しかし、このコロナ禍でも、この2年間、感染拡大を回避しながら、対面式形態とともに、

リモートも併用しながら、着実に進めてまいりました。現に、皆さんの先輩の在学生は、このコロナ禍にも拘わらず、勉学に著実な成果を挙げております。例えば、資格の取得関係では、ある国家資格の受験結果で、全国平均を上回った合格率を出しています。コロナ禍でもよく頑張りました。今後とも変わらぬ慎重に、かつ着実に進めて参りますので、どうかご安心ください。弘前学院は、本多庸一によって明治19年に設立され、キリスト教の精神を基に「畏神愛人」を弘前学院の建学の精神としました。本学は、その母体が創設

されて、今年で136年になります。さて、大学は、その大学一つだけで完結するものではなく、地域社会、他の大学や、組織・機関との連携協力による、より一層の充実を指向することが求められております。国際化・グローバル化の面では、本学は、アメリカの4大学、韓国の3大学、中国の2施設との姉妹校提携が結ばれております。また、地域との交流についてですが、この弘前は、学都すなわち学園都市と呼ばれる、ここには、市内の5大学で結成された「大学コンソーシアム学都ひろさき」と言う連携組織があり、相互に連携しており、本学は弘前大学と単位互換の協定を結ん



た。18歳から選挙権を得ます。また契約について、親の同意がなくても、本人の意思1つで契約などができるのです。ただし、飲酒や喫煙などは従来どおりで、20歳以上から、となっています。こうして、以前にも増して、皆さんには自立の意識が求められております。社会的自立、また経済的自立ということなのであります。さて、この「ジリツ」には2つの意味があります。似ていますが異なります。1つは「自ら立つ」の自立、もう1つは「自ら律する」の自律で、これは自

己の精神的な内的作用をあらわす言葉です。自立のためには、もう1つの自ら律するの「自律」が必要となります。この自律を前提として、「自ら立つ」の自立をめざして下さい。今後、皆さん自身が経験するいろいろな問題に対して、試行錯誤しながらも、いかに自らの頭で考えて解決策を模索できるかが重要なのです。これが大学での「学び」のあり方です。私たちは、皆さんの「学び」に期待しております。これを、皆さんの歓迎とお祝いのことばといたします。

## 2022年度 特待生授与者

- ◆文学部
    - 2年 山内 一誠
    - 3年 福士さくら
    - 4年 鶴ヶ谷朱梨
  - ◆社会福祉学部
    - 2年 齊藤 帆南
    - 3年 工藤 果乃
    - 4年 佐藤 未夢
  - ◆看護学部
    - 2年 成田 有那
    - 3年 佐藤 風沙
    - 4年 奥崎 彩聖
- \*一年生については、前期成績発表後の十月に授与予定です。



# 「コロナ禍における学生への支援について」

コロナ禍における学生への支援を報告します。

八戸市の株式会社ライケット様より青森県産米まつしぐら2キログラムを寄贈いただくこととなりました。

昨今のコロナウイルスの影響を受け、生活費を賄うアルバイト収入の減少や生計維持者の経済状況の悪化により必要な仕送りが得られないなどの理由から、学業の継続に影響が生じている学生の経済的・精神的負担を軽減し、安心して学業を継続できるように、食の支援ということでサポートしたいとの申し出があったことから実現した支援です。

募集したところ、今年度全学年で271名の申し込みがありました。また、2022年6月10日(金)には「株式会社ライケット」食の支援「青森県産米贈呈式」が行われました。学生を代表し、社会福祉学部3年の須々田響さんが出席し、常務取締役の河村泰輔様よりお米を受け取りました。

お米の受け取り期間中には、学生から喜びの声が多く聞かれました。2022年7月には、昨年に引き続き、JAGグループ青森様による「大学生を支援するため」の県産米を贈る



取組み」として、まつしぐら2キログラム及びレトルトパックごはんを寄贈いただく予定です。

この支援は、コロナの影響下において、学生の健康維持と経済的不安の解消を図るために親元を離れ生活しているひとり暮らしの(自宅外通学)の学生の生活を食の面で支援することが目的です。

コロナ禍で様々な影響を受けている学生に対し、支援を行うことができたことを心より感謝いたします。

## 「門前の小僧」あるいは「勸学院の雀」

社会福祉学部 教授 大野 拓哉



あるソーシャルワーカーが最初に「開発した「社会資源」は「リフト」の自動車による送迎事業だったという。寝たきりの人の移送方法を模索中にこの車両を知ったことかきかけとなり、関西圏第一号のリフトの車が、豊中市で誕生した」という。

「社会福祉でいわれる「社会資源」は、「利用者の抱えたニーズを充足・解決するために動員・活用される有形無形の人的・物的・制度的・情報的資源を総称したもの」などと定義される。上記の「送迎事業」は「リフト」の自動車による物資の輸

送とは異なる事業だったはずだが、一体、どのような要件を充たして、新たな「社会資源」となったのだろうか。また、「送迎事業」誕生のプロセスは何故「開発」と呼ばれるのだろうか。

しかし、「社会資源」となるための要件は解明されていない。だとすると、要件の充足がその「開発」を語ることはできません。そもそも、「リフト」の自動車による送迎事業にしたところで、それを「開発」と誇りたい社会福祉関係者の思考とは裏腹に、おそらく一般には「開発」ならぬ既存の車両の「転用」としかみられなかっただろう。

筆者は、社会福祉学については専門外ながら、かつて「権利擁護事業」は「見かけ倒し」と「独り善がり

ヒロガク教養講話とは、新入生が多様な背景を持つ講演者から話を聞くことを目的として開催されます。この講話は、実践的な事柄についての理解を深めることから、学生として成長することまで、さまざまな方法で学生を支援します。

今年度の教養講話は、弘前学院大学薬科勝之学長の「新しい国づくりそのコトバ」中国在住宣教師館の著作「リ」という二つの視点で読み解けると論じたが、その見方は上記の「送迎事業」にも当てはまるであろう。

「権利擁護事業」にせよ、社会資源」にせよ、そこに共通する物の事の捉え方の緩急や言葉選びの安直さは、他愛もない思ふかきと一笑に付せなくもない反面、それ果たして社会福祉の実践的確かつ効果的に行われ得るのかとは懸念されざるを得ないであろう。

JICA東北青森デスクの阿部翔太様には、JICAについて説明していただきました。JICAがSDGsの達成を目指していることが説明され、多くの学生が、外国での生活や仕事の経験について質問をしま

ですが、年齢、母語、生活環境、学習などに影響されない、一部の文法項目があるのではないかと仮説を立てています。これまで、スペイン語ポルトガル語、ロシア語、中国語韓国語母語話者のデータを観察してきましたが、共通してみられる現象を見つけたために分析し直すことを繰り返しています。

また、地域日本語教育については、これまで、外国人散在地域において支援にあたる人材の確保、養成の体制が整備されないままボランティアに一切が委ねられているという「ボランティア依存の構造」が指摘されてきました。そのボランティア依存の構造からは、どのようにして脱却を図ることが可能なか、その手がかりとなる外国人散在地域の研究が極めて少ないとされています。日本語教育を実施する際には、特定の個人

## ヒロガク教養講話の報告

と幕末明治の日本」という演題の講義から始まりました。講義では、日本語に存在しない新しいアイデアが輸入されたときに直面した言葉の困難で、どれだけ多くの語が現代の日本語で使われるようになったかについて話されました。

ナルミ医院院長嶋海様には「将来の目標や夢を実現するために必要なこと」という演題で生徒たちに健康について講義をしていただきました。この講義では、自分のお金を管理することがいかに重要かについて説明があり、大人としての責任について学生に注意が促されました。最後に、学生が経済的困難に直面した場合に使用できる多くのリソースが紹介されました。

JICA東北青森デスクの阿部翔太様には、JICAについて説明していただきました。JICAがSDGsの達成を目指していることが説明され、多くの学生が、外国での生活や仕事の経験について質問をしま

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

この後予定されている講話は、弘前年金事務所 副所長 原田秀勝様、株式会社アルク 代表取締役 小山内和寿様、弘前公共職業安定所 就職支援ナビゲーター 工藤裕子様、医療法人三良会村上新町病院 院長 吉岡利忠様です。最後に、毎年恒例の英語弁論大会が7月末に開催されます。

(文責：スマックウィー)

## 第二言語習得と地域日本語教育

文学部 日本語日本文学科 講師 志喜屋 カロリーナ

本学で、外国人に日本語を教える「日本語教師」の資格取得に必要な科目を担当しております。アニメや漫画などのサブカルチャー人気によって、世界の日本語学習者は2018年度には約385万人に達し、新型コロナウイルス感染拡大直前まで増加傾向にありました。日本語教師を目指す学生たちは、日本語を学ぶことながら教育学・言語学・音声学・社会言語学など幅広い分野

弘前総合開発株式会社経営企画室課長代理柴田育子様からは「大學生が今知っておきたいお金の話」という演題で、学生たちにお金について講義をしていただきました。この講義では、自分のお金を管理することがいかに重要かについて説明があり、大人としての責任について学生に注意が促されました。最後に、学生が経済的困難に直面した場合に使用できる多くのリソースが紹介されました。

弘前大学非常勤講師野口拓郎先生には「移住・定住」という視点で今後のキャリアを考える」という演題で講演をしていただきました。この講話では、一度県外で働き、その後県内に戻ることを考えている学生に対して、どのような支援プログラムを実施しているのかを説明していただきました。野口様は、自分自身が何度か移住した経験も踏まえて、移住のメリットやデメリット、移住後の生活環境について詳しく説明されました。この回は、県庁の高村様にも

人や企業、地域日本語教室などが単独で取り組むのではなく、地域づくりの団体、自治会組織、学校、社会教育施設、企業、行政などの連携のあり方を今まで以上に追求していく必要があります。チーム体制で取り組むことにより、視点の広がりや多角的な検討ができます。一つの機関に負担が多くなることを避ければ、持続可能な取り組みにもつながっていきます。地域社会から外国人材へのアプローチがまだまだ希薄な地域もあることから、これらの諸問題を解決しようと取り組んでいる地域に向き記述する事例研究をしています。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

## 鶴田流薩摩琵琶演奏者 平尾鶴朋

弘前学院大学 代表取締役 小山内和寿様、弘前公共職業安定所 就職支援ナビゲーター 工藤裕子様、医療法人三良会村上新町病院 院長 吉岡利忠様です。最後に、毎年恒例の英語弁論大会が7月末に開催されます。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

## 弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

## 弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

## 弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

## 弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

## 弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

## 弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

## 弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

## 弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

## 弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

## 弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

## 弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

弘前学院大学の発展のため、目の前にいる学生にとつて分かりやすい授業と、実践につながる研究を謙虚な心で行う所存です。

# クラブ紹介について

文学部 日本語・日本文学科3年 部長 間宮 理太

皆さんこんにちは！弘前学院大学軽音楽部です。さて、皆さん「軽音」と聞くと何を思い浮かべるでしょうか。アニメ？チャラそう？みんな変人そう？様々あると思います。僕もこのサークルに入るまで音楽への関わりというものはほとんどなかったです。しかし、ある日ライブを見たとき、「あ、これやりたい」と思ったのがきっかけで入部しました。最初は不安でしたが、入ってみると細かく開催されるライブで学年問わず演奏することができ、楽

器経験者の同期や先輩が教えてくれます。おかげで初心者でも楽しく活動できるようになりました。実際の活動としては、一か月に一回を目安にライブを開催しており、ライブ出演も義務ではなく、自分のスケジュールに合わせて自由に調整可能です。また、学校内に軽音楽部のポスターも設置してあります。そこに軽音楽部のInstagram、Twitter、アカウントのQRコードがあります。ここではライブの様子や活動のちよつと

# 軟式野球サークル紹介について

社会福祉学部 社会福祉学科3年 部長 橋本 聖矢

これを見ている皆さん！野球部入りませんか！上手じゃなくても良いし、練習・試合は自由参加です！何ならこの文章を書いてくれる部長である私は、サークル内で一番野球が下手つびなんです！今は選手もマネージャーも大々大募集中です。練習・試合は不参加でも食事会だけ参加したいって人！友達を作ったり仲の良い先輩が欲しいという人！バイトもしてないし最近暇だっという人！この指止まれ！

段、週2(火曜の放課後と土曜日の昼間)で練習をしています。また、週末でたまに練習試合をさせてもらっています。試合では選手の人数が足りず助っ人さんに来てもらっていますが、ここだけの話私の個人的な目標は学院生だけで試合が出来る人数を確保することです。ミスしても負けても、楽しく終われば良いと考えるタイプの部長としてやらせていただきます。さらに食事会も定期的に開きます。練習おわりの昼食や、親睦を深めるための飲み会も行きます。



ますよん。新しい友達を作ったり、先輩とのつながりを広げたりなど良いことたくさん！こんなサークル他にない(絶対あります)！皆さん是非軟式野球サークルに入りませんか？少しでも興味があればイン스타그램でサークルのアカウントをフォローしてください！

# 「図書館 ミステリー特集」のお知らせ

図書館ではだいたいま古今東西のミステリー小説の展示をしています。どんな作品が並んでいるのか、紹介していきたいと思えます。

『希望が死んだ夜に』……同級生を殺害した容疑で逮捕された少女。動機を一切語らない彼女の真実とは……。現代社会が抱える闇を描いた、社会派青春ミステリー。  
『ラプラスの魔女』……温泉地での事故死を調査に訪れた環境科学者の青江は、特異な能力を持つ少女と出会い……。東野圭吾ミステリーの真骨頂。  
『見知らぬ遊戯 鑑定医シャルル』……分裂気質で人嫌いの鑑定医シャルルが、犯罪心理学を駆使して犯人の心の暗闇に分けるサイコ・サスペンス。  
『吾輩はシャーロック・ホームズである』……イギリス留学中の夏目漱石が心を病んで自分のことをシャーロック・ホームズだと思ってしまう。設定が秀逸で

# 父母と教職員の会 総会報告と年間行事のお知らせ

六月十八日(土)、本学にて二〇二二年度父母と教職員の会総会が開催されました。総会では、佐藤和博会長が議長となり、以下の議案について話し合われました。  
○第一号議案  
二〇二二(令和三)年度活動

報告及び収支決算報告について  
○第二号議案  
二〇二二(令和四)年度活動計画(案)及び収支予算(案)について  
○第三号議案  
役員改選について  
なお、役員については次のとおり決定されております。  
会長 佐藤 和博(留任)  
副会長 今井 哲(留任)  
監事 村上 伸江(留任)  
監事 福士 秀文(新任)  
顧問 薬科 勝之(留任)  
今年度の父母と教職員の会の年間行事は以下の通りです。  
○六月十六日(木)  
学内常任委員会

○六月十八日(土)  
役員会、総会  
○八月開催予定  
教職員研修会  
○八月二十五日、  
八月二十六日(木・金)  
職員研修会  
○九月開催予定  
父母・教職員研修会  
○九月二十三日(金・祝)  
父母懇談会  
○九月二十四日(土)  
父母懇談会  
○九月二十四日(土)  
父母懇談会  
○九月二十四日(土)  
父母懇談会  
○九月二十四日(土)  
父母懇談会

『水菓』……なりゆきで入部した古典部の仲間依頼された折木奉太郎は、日常に潜む不思議な謎を次々と解き明かしていくことに。アニメ化・実写化もされた作品です。  
『珈琲店タレーランの事件簿』……タイトル通り、コーヒー喫茶を舞台としたミステリー小説です。読むとコーヒーが飲みたいくなるかも？  
『スープレイズの謎解き朝ごはん』……ひっそり早期営業し

# 人事異動

◆新任紹介	文学部	講師	志喜屋 カロリーナ
		講師	井上 裕太
	看護学部	助教	對馬 明美
		助教	松坂 朋佳
	事務職員	入試広報センター次長	幸山 勉
◆異動	法人本部		
		事務職員	須藤 啓介
		就職課	五十嵐 徹
		退職	竹内 由可子
		学生・就職課	小寺 正剛
		社会福祉学部	齋藤 昭
		看護学部	岩渕 美沙
		事務職員	須藤 啓介
		就職課	五十嵐 徹

# 地域の英語教育への貢献を目指して

文学部 英語・英米文学科1年 八島 萌



私は将来、英語教員を目指している。もともと英語が得意教科でかつ好きだったこともあり、英語の勉強には特に力を入れてきた。高校生活における三年間のイングリッシュクラブでの活動を通し、その時点での英語力で、諦めずに相手に伝えようとする姿勢や、相手の英語を聞き取るうとする姿勢が何よりも大切だと学んだ。だからこそ大学でも英会話に力を入れ成長し続けていきたいと考えている。

# 国語の教員を目指して

文学部 日本語・日本文学科1年 土井 健裕



私は、高校時代に、ビブリオバトルという大会に参加し、優勝しました。ビブリオバトルとは自分がおすすめる本を参加者が持参し、その本の魅力をプレゼンして競う大会です。その出来事をきっかけに、人前で話すことの楽しさや文学の奥深さを知り、国語の教師を目指そうと弘前学院大学に進学しました。大学では、未来の教員を育てるための様々な講義があります。

# 社会科の教員を目指して

社会福祉学部 社会福祉学科1年 水島 美咲



三年生という好奇心旺盛な時期に得た経験は、その後の英語学習に大きな影響を与える。だからこそ大学では、子供たちに言語に触れることへの好奇心を持ってもらえような活動を行っていききたい。また子供たちの好奇心につながる授業方法も大学で学びたいと考えている。そのために引き続き英語力向上と異文化理解に努めていこうと思う。今後は小学校、中学校、高校へ活動を広げていきたいと考えている。

大学生生活では様々な経験を得て、最終的には、自分の将来の目標である「英語の専門性と異文化適応力を兼ね備えた教員」になりたい。

大学で頑張りたいことは二つあります。一つは、大学で行われている活動に積極的に参加することです。文学部日文科には国語国文学会という活動があります。そして国語国文学会では、文学作品や作家にゆかりのある地を訪れて、作品や作家に関する理解をさらに深めようとする、「文学散歩」と呼ばれる企画があります。私は文学散歩に参加し、将来に役立てるための知識をたくさん学びたいと考えています。二つ目は、アルバイトを通して社会経験を積むことです。私は、大学に入るまでバイト経験がありませんでした。なので、これからは様々な種類のアルバイトに挑戦し、社会経験を積みたいたいです。特に、

# 新入生の夢と希望



将来教師になる時の練習となるよう、家庭教師のアルバイトなどにも挑戦しようと思います。大学では自分の興味のあることをより深く理解することができ、貴重な経験をしていることを日々実感しています。この実感を忘れず、大学生生活を有意義な時間だったと誇れるよう、日々勉強していききたいです。

うになり、社会科の教師を目指すことにしました。進路相談で、自分の悩みに寄り添ってくれた2人の先生には今でも本当に心の底から感謝しています。大学に入学してから2カ月程しか経っていませんが、沢山の友人に恵まれ、毎日が本当に楽しいです。これからは様々なことに興味をもってたくさんの方に挑戦していききたいと思っています。例えば、高校時代にできなかったアルバイトです。教員免許を取りたいので、塾講師も良いと思っています。将来生徒にものを教えたり、伝えたりするスキルとして活かしていきたいです。学習面においては教科によってそれぞれ出される課題、レポートがあります。これまでやったことがなく、まだ不慣れな部分がありますが、徐々に覚えていきたいと思っています。また、大学を卒業しても、自分の就きたい仕事に就けない可能性もあります。しかし、今だけ頑張るかによって未来は変わってくると思います。夢を叶えたいのにまだ遠かったり、あと一歩なのに...となることもあります。自分自身が諦めたから夢は寸断されてしまいません。そうならないためには、日々の勉学に励み、ステキな教師になるという将来の夢を実現させたいと思います。

私の将来の夢は、社会科の教師になることです。しかし、高校に入学するまでは教師になろうとは1ミリも思っていませんでした。そんな私に、高校時代に出逢った先生が転機を与えてくれました。

先生と社会の先生ということもあり、2つの選択肢で迷ってしまいました。しかし、技術面や学力面など様々なことが理由で音楽の先生になることは洪々諦めました。そこから心機一転すると、社会科のテストの点数や成績がどんどん上がっていきました。勉強が楽しいと思えるようになった。

# 憧れを現実にするために

看護学部 看護学科1年 小野寺 由芽



私の将来の夢は、妊婦さんの心へ寄り添い、支えることのできる助産師になることです。私が助産師になることと考えると一番はじめのきっかけは、母への尊敬と憧れの気持ちがあったことです。助産師として忙しく働く母に、幼い頃は「何故一緒にいてくれないの!」と、癪癪を起すこともありました。しかし、あるときテレビで放送していた職業特集の番組で助産師が特集されているのを見て、母はこんなにかっこいい仕事をしているのかと衝撃を受けたと

同時に、私もあなりたいと思うようになりました。助産師になると決めてからは、積極的にニュース等を見て情報収集をするようになりました。そして、近年出産後の孤独感から産後うつになる人が増えていると知り、そんな妊婦さんたちの心に寄り添い、悩みを抱えすぎることなく楽しんで子育てができるように手助けができる助産師になりたいと考えています。

弘前学院大学に入学してあっという間に約三ヶ月が経ちました。高校生の時と比べて課題やレポートの量が多く、授業時間も増えているので一日一日が濃く感じられます。空きコマや隙間時間を上手く活用して、予習復習をしていきたいです。これから試験やレポート提出が増えてくるので、時間を見つけて少しずつでも着実に進めていきたいとおもいます。また、六月末頃には初めての実技試験があるので、良い結果を残せるようにペアの人と空き時間を利用して練習したいです。

今月末からは実習もはじまり、より一層看護を学ぶ者としての自覚と責任を持たなければいけないと強く感じています。この気持ちを心に刻んで、実習に取り組みたいです。